

薬の相互作用一覽

特集P4で触れた相互作用の代表的な一覽です。薬の成分を見ながら、飲む前にチェックしておきましょう。

- 市販薬
- 処方薬
- 危険！使用禁止！
- 使用前に医師に相談
- NG 良くない組み合わせです
- こんな副作用があります

このページで紹介しているのは
風邪薬 / 胃腸薬 / 整腸剤・便秘薬・止瀉薬 / 抗生物質

風邪薬

カフェイン

危険！使い方

テオフィリン(ぜんそく治療薬) / 動悸やイライラが生じる(製品名=チルミン、テオドール、テオロング等) / シメチジン(胃潰瘍治療薬) / シメチジンとカフェインの作用が増強する事もある(製品名=シメチジン、ストマチジン等)

危険！組み合わせ

緑茶や紅茶、コーヒー、コーラ / カフェインの作用が増強 / タバコ / 薬が効きにくくなる

副作用

○主な副作用 / 大量投与した場合、ふるえ、めまい、不整脈、虚脱、不眠等が起こる。継続的に大量に使用した場合、腎臓や肝臓の機能に障害が生じる恐れあり
○妊婦・高齢者の場合 / 事前に医師の指示が必要

[主な市販薬 エスタックイブ・カコナル総合感冒薬・コルゲンコーワE T錠・コンタック総合感冒薬、新ルルA錠等]

抗ヒスタミン薬

危険！使い方

中枢神経抑制薬(睡眠薬) / 抗コリン薬(胃けいれん治療薬) / かせ薬の作用が増強、眠気等の副作用が現れる
ドキシジン(パーキンソン病治療薬) / 製品名=ドプス、ノルエピネフリン(交感神経刺激薬) / 製品名=ノルエピネフリン等 / 血圧が異常に上昇、高血圧の人は要注意

危険！組み合わせ

アルコール / 作用が増強

副作用

○主な副作用 / 無顆粒球症、再生不良性貧血、肝機能障害、排尿困難、頻尿、下痢、咽頭の渇き、吐き気、発疹等
○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要

[主な市販薬 エスタックイブ・コンタック総合感冒薬・新エスタックL錠・新ルルAカプセル・スカイナー等]

非ピロリン系解熱鎮痛薬 アセトアミノフェン

危険！使い方

リチウム(躁病治療薬) / リチウム中毒を起こす恐れ(製品名=炭酸リチウム、リチオマルム、リマス等)
サイアザイド系利尿薬 / 利尿薬の効果を弱める(製品名=ハイグロトン、アナスタジン、カルバクロン、トリクロン、フルイトラン、エシドレックス、ダイクロライドペハイド、プリザイド、エンデュロン、エスカロン、バイカロン等) / 消化性潰瘍、重い肝・腎障害、重篤な心不全の人は使用不可

危険！組み合わせ

キャベツや芽キャベツ / 解熱鎮痛効果低下
タバコ / 薬が効きにくくなる / アルコール / 副作用が強まり肝障害

副作用

○主な副作用 / ショック、アナフィラキシー(呼吸困難、血管浮腫、全身紅潮、じんましん等) / 皮膚粘膜眼症候群、中毒性表皮壊死症、ぜんそく発作の誘発、吐き気、下痢、食欲不振、冷や汗、チアノーゼ等
○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要

[主な市販薬 エスタックSR錠・改源・カコナル総合感冒薬・コルゲンコーワE T・コンタック総合感冒薬・ストナE T等]

咳止め 中枢性鎮咳薬 リン酸ジヒドロコデイン

危険！使い方

フェノチアジン系薬剤(抗精神病薬) / パルピツール酸系 薬剤(睡眠・催眠薬) / 一部抗うつ薬(中枢性鎮咳薬) / 効きすぎて危険(製品名=フェノチアジン系メレリル、ウインタミン、ベゲタミンA、フルメジン、ノパミン等多数) / パルピツール酸系薬剤 イソミタール、フェノパルピタール、ルビパール、ワコピタール、ラボナ等) / クマリン系抗凝血薬 / 抗凝血薬の作用増強(製品名=アレファリン、サモファリン、ワーファリン、ワルファリンK等)

危険！組み合わせ

アルコール類(卵酒も要注意) / 呼吸抑制、低血圧、意識障害、昏睡を起こす恐れ。

副作用

○主な副作用 / 呼吸抑制、せん妄(幻覚などの意識障害) / 気管支けいれん、喉頭のむくみ、まひ性イレウス(腸閉塞 等)、依存性がある為、連用して急に服用を中止すると頭痛や吐き気等の禁断症状が起こる危険性がある。
○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬 エスタックイブ・新ジキニンD錠・新ルルAカプセル・スタプラス2、パブロンSゴールド錠等多数]

咳止め 非麻薬性中枢性鎮咳薬 デキストロメトルフアン

危険！使い方

デキストロメトルフアン / 薬物代謝酵素についての遺伝子研究で、デキストロメトルフアンを代謝する酵素が正常より少ない人が、日本人の約5人に1人いる事が判明。この様な人の場合、正常な人と同じ量を服用すると薬の効き目が強く出たり、副作用が現れる危険性が高くなる。この代謝酵素が正常かどうかを見極める目安が「強い眠気」。もし、このタイプの薬を飲んで今迄に強い強い眠気を感じたら、代謝酵素が少ない欠損の可能性あり

副作用

○主な副作用 / 呼吸抑制、発疹、頭痛、悪心・嘔吐、眠気、めまい、腹痛、食欲不振、便秘等
○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦:安全性が確立していない為、医師の指示が必要、高齢者:大きな問題はないが、念の為に医師が薬剤師に要相談

[主な市販薬 コンタック総合感冒薬、新安ケール、スカイナー、バイロン、ベンザエースA]

その他 (危険な食・飲み合わせ)

ココロラとアスピリン(解熱・鎮痛薬) / 薬の吸収遅延
タバコとアスピリン(解熱・鎮痛薬) / 血小板凝集能亢進
100%野菜・果汁ジュース(特にグレープフルーツ)とアスピリン / ビタミンC欠乏に陥り易い
ワーファリンカリウム(血栓症予防薬)とアスピリン / 薬効の増強により出血し易くなる。止血されにくくなる
血糖降下剤(血糖降下剤)とアスピリン / 薬効の増強により血糖が下がり過ぎ、低血糖状態になる
痛風治療薬とアスピリン / 薬効の減少。又は頭痛等の副作用が出やすくなる
キャベツとアセトアミノフェン(解熱・鎮痛薬) / 吸収が低下して効果が減少
アルコールとアセトアミノフェン(解熱・鎮痛薬) / 副作用が強まり肝障害等

タバコとアセトアミノフェン(解熱・鎮痛薬) / 薬の体内滞在時間の減少
タバコとアンチピリン(解熱・鎮痛薬) / 薬の体内滞在時間の減少、特に若者に顕著
タバコとフェナセチン(解熱・鎮痛薬) / 薬の血液中濃度が減少
チーズと塩酸フェノールプロパノール(鼻炎治療薬) / 血圧上昇、嘔吐等

胃腸薬

ヒスタミンH2

危険！使い方

抗不整脈薬、降圧薬(血圧を下げる薬) / ぜんそく治療薬、抗てんかん薬、ベンゾジアゼピン系抗不安薬等 / 作用が増強

危険！組み合わせ

ビタミンB12の吸収を阻害する事がある。
レバーや魚介類等のビタミンB12多量食品を要摂取
カフェイン / 心臓血管や中枢神経へ大きく副作用を及ぼす / アルコール / 酔い易くなる / たばこ / 潰瘍が再発し易くなる

副作用

○主な副作用 / ショック、アナフィラキシー(呼吸困難、血管浮腫、全身紅潮、じんましん等) / 再生不良性貧血、血小板減少、肝障害等。
○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦:使用不可。授乳中の人も控える。 / 高齢者:医師の指示が必要。

[主な市販薬 アルメサック錠、ザツブブロック、スカイジン、住友胃腸薬スコープ、センロックエース、フロンティア錠等]

消化性潰瘍薬治療薬

危険！使い方

テトラサイクリン系抗生物質、ニューキノロン系抗菌剤 / 併用剤の吸収が阻害され、抗菌作用が弱くなる(製品名=テトラサイクリン系 アクロマイシン、ピブラマイシン、ミノスタシン、ミノマイシン、レダマイシン、ロパフィリン等 / キノロン・ニューキノロン系 フルマーク、スバラ、ナリジックス / フロキサノン、ドルコール、メガロシン、クラビット等) / ジギタリス製剤、甲状腺ホルモン剤、クエン酸製剤、鉄剤 / 併用剤の効果低下(製品名=ジギタリス製剤 タルーション、ジゴキシン、ラニラビッド等 / 甲状腺ホルモン剤 サイロニン、チラージンS等) / 活性型ビタミンD製剤 / 高マグネシウム血症を起こす(製品名=フルスタン、ホーネル、アルカドール、アルファスリー、カルザップ、コバルファ、リモデルン、ワークミン、カルシオロール、リストール、ロカルトロール等)

危険！組み合わせ

ステーキ等 / 胃酸の中和力が弱まる。 / 牛乳 / 高カルシウム血症を起こす。

副作用

○主な副作用 / 食欲不振、悪心、胃部不快感、骨軟化症、高マグネシウム血症、アルミニウム脳症、アルミニウム骨症等。
○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦:とくに危険性は指摘されていません。高齢者:医師の指示が必要。

[主な市販薬 E共Z胃腸薬、大正エスブロックZ、ストマクールA細粒、マールックスプラスチュアブル錠等]

胃・十二指腸潰瘍治療薬抗ドパミン剤 スルピリド

危険！使い方

チオリダジン・イミプラミン(精神安定剤) / 心室性不整脈が起こる(製品名=メレリル・イミドール・フランニール) / プロラクチン分泌低下(下垂体腫、プロラクチノーマ) / 病態悪化

危険！組み合わせ

アルコール / 中枢神経系抑制作用が増強

副作用

○主な副作用 / 遅発性ジスキネジア(けいれん等)。
○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬] スルピリド・アピリット・オンベラン・ヨウマチール・ドグマチール・スタマクリット・ミラドール・シーグル等

胃炎治療薬のH2受容体（H2ブロッカー）拮抗薬 シメチジン

危険な使い方

肝臓のP450と呼ばれる薬物代謝酵素の作用を広範囲で阻害。故に次の薬の血中濃度を下げ、効果を増強の場合あり。ワルファリン(抗凝血剤)/アレファリン、ワーファリン等 フェニトイン(抗てんかん剤)/アレピアチン、フェニトイン等 テオフィリン(気管支拡張剤)/ユニコン、テオドール等 プロプラロール(狭心症・不整脈治療薬)/インデラル等 ジアゼパム(抗不安剤)/セルシン、ソコナン、ジアゼパム等 ニフェジピン(狭心症治療薬)/セバミット、ニフェジピン等 リドカイン(局所麻酔薬、不整脈治療薬)

危険な組み合わせ

チーズ、ワイン/腰痛、頭痛、血圧上昇 カフェイン(コーヒー、紅茶、緑茶)/イライラ感、不眠 アルコール/血中濃度が上昇し、中枢神経抑制作用が起こる恐れあり タバコ/十二指腸潰瘍の再発率が高くなる

副作用

○主な副作用/めまい、頭痛、下痢、眠気、発疹等。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:使用不可。授乳中も同様。高齢者:医師の指示が必要。

[主な市販薬] シメチパール、ガスフェロン、ダンカート、シメチジン、イクロール、ファルジン、スターセル等

胃潰瘍・胃炎治療薬制酸薬 水酸化マグネシウム

危険な使い方

テトラサイクリン系抗生物質・エチドロン酸二ナトリウム/不溶性と変化し、これらの吸収を妨げる(製品名=アクロマイシン・ダイドロネル) 活性型ビタミンD製剤/高マグネシウム血症を起こす場合があり。更に排泄、鉄剤の吸収に悪影響。この場合、服用する間隔を空ける。

危険な組み合わせ

牛乳、カルシウム製剤/食欲不振・吐き気

副作用

○主な副作用/多量かつ長期間の服用により、下痢・吐き気、全身倦怠感が起きる事がある。○妊婦・高齢者の場合/事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬] ミルマグ等

胃潰瘍治療薬プロトンポンプ阻害剤 オメプラゾール

危険な使い方

抗てんかん剤フェニトイン・抗不安定剤/薬効の増強 製品名=アレピアチン・ヒダントール・ジアゼパム・ソコナン・セルシン] 気管支拡張剤テオフィリノ/テオフィリノの作用が弱くなる(製品名=テオスロー・ユニコン・チルミン)

危険な組み合わせ

牛乳/変質を防ぐ為のコーティングが溶解

副作用

○主な副作用/視力障害、血管浮腫、低ナトリウム血症、間質性肺炎、横紋筋萎縮症、じんましん、発疹、下痢、光線過敏症、便秘等。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬] Eオメプラソール・オメプラール等

整腸剤・便秘薬・止瀉薬

整腸剤 ラクトミン

危険な使い方

乳酸菌製剤/食前に服用すると胃酸の集中砲火を受け効果減退

危険な組み合わせ

牛乳アレルギーのある人/アレルギー症状が出る恐れあり

副作用

○主な副作用/製品により、まれに発赤、発疹、過敏症状、ショック等が起こる場合あり。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:医師のアドバイスが必要。高齢者:問題なし。

[主な市販薬] 強力アタバミン、新ビオフェルミンS、ピラミン、ラクトミン等

止瀉薬

ロペラミド

危険な使い方

ケイ酸アルミニウム(制酸剤)/タンニン酸アルブミン(下痢の治療薬)/作用減退 2種類以上の止瀉薬や胃腸薬を併用する場合、要注意 この成分を含む薬を指示以上の量飲んで、まひ性腸閉塞による重篤な副作用が起きた例あり。多めに飲むのは危険

危険な組み合わせ

危険な食べ合わせはとくにありません

副作用

○主な副作用/著しい便秘等の腸閉塞様症状、血管浮腫、じんましん、呼吸困難、全身紅潮、肝障害、口の渇き、食欲不振、悪心・嘔吐、発熱、腹痛等。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬] イノック下痢止め、中外下痢止め、マルビー下痢止めS、シグナル下痢止め等

便秘薬

センノシド

危険な使い方

急性腹症の疑いがある人、痙攣性便秘の人/服用禁止、治療が必要 低ナトリウム血症や低カリウム血症等の電解質失調の人/下痢が原因で更に電解質の吸収が妨げられ、服用禁止

危険な組み合わせ

別の下剤/作用が増強、大腸に悪影響

副作用

○主な副作用/腹痛、悪心・嘔吐、過敏症(発疹等) 低カリウム血症、腹痛等。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:授乳した子供が下痢を起こす例あり。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬] コーラックS、新サラリン、新ドクソウガンG、ナイスロン錠、フィナー便秘薬、メイスル、ワカモト便秘薬等

便秘薬大腸刺激性下剤

ダイオウ・センナ配合剤

危険な使い方

テトラサイクリン系抗生物質/効果減退 アクロマイシン等の抗生物質/要注意 センノシド製剤/長期間常用で作用が弱まる(製品名=センナシド・センナル、センノサイド・ベンクルシン・プルゼニド等) けいれん性便秘の人は使用不可

危険な組み合わせ

カルシウムの多いサプリメント、カルシウム製剤、牛乳/食欲不振・吐き気 製品名=カルシウムバーラー、こつこつカルシウム/カルカルシンソフト、カルシックス、新カルシチュウD、マリオンカルシウム等]

副作用

○主な副作用/発疹・腹痛・腹痛等○妊婦・高齢者の場合/妊婦:原則使用不可。授乳中は要医師の指示。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬] アローゼン・セリナリート・アロセンド等

抗生物質

感染症治療薬セフェム系抗細菌薬 セフジニル

危険な使い方

増血剤鉄剤/効果減退 併用時は約3時間空ける ワルファリン(ワルファリンカリウム[抗血栓剤])/作用強化 製品名=ワルファリンD・ワーファリン・サモファロン・アレファリン等]

危険な組み合わせ

のり、ひじき、レバー/効果減退 アルコール/ジスルフィラム様の作用 鉄分を補うサプリメント/効果減退

副作用

○主な副作用/ショック、アナフィラキシー(呼吸困難、全身紅潮、血管浮腫等)血小板減少、腎機能障害、肝機能障害、ビタミンK欠乏症、腹痛、頭痛、発疹、関節痛、食欲減退。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬] セフゾン等

感染症治療薬トリアゾール抗真菌薬 イトラコゾール

危険な使い方

シサプリド(胃腸機能調整薬)キニジン(不整脈治療薬)アステミゾール(アレルギー治療薬)/不整脈等の副作用が起こる場合あり[主な製品名=リサモール・アセナリン・硫酸キニジン・ヒスマール] シンバスタチン(高コレステロール血症治療薬)/重篤な不整脈が起こる場合あり [主な製品名=リババ] トリアゾラム(睡眠・鎮静剤)/重篤な不整脈が起こる場合あり [主な製品名=ハルシオン・トリアゾラム]

危険な組み合わせ

コーラ等の酸性飲料/血中濃度が上昇、作用を増強させる

副作用

○主な副作用/肝機能障害、皮膚粘膜眼症候群、うつ血性心不全、吐き気、腹痛、腹部不快感、食欲減退、不整脈、光過敏性反応、倦怠感。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:原則使用不可。授乳中も同様。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬] イトリゾール等

感染症治療薬 ニューキノロン系抗菌薬 レボフロキサシン

危険な使い方

プロピオン酸系非ステロイド性消炎鎮痛剤・フェニル酢酸系/けいれんを引き起こす事あり[製品名=ナバノール、リリジン、メザート、イブプロフェン、イブプロシ、ブチレノン、ユニプロン、セデナフェン等] ワルファリン(塞栓症、血栓症、心筋梗塞治療薬)/作用が増強 製品名=ワルファリンD、ワーファリン、サモファロン、アレファリン等]

危険な組み合わせ

のり、ひじき、レバー等の鉄分/効果減退 牛乳/効果減退 鉄・カルシウムを補うサプリメント/効果減退

副作用

○主な副作用/肝機能障害、間質性肺炎、腎不全、ショック、錯乱、腱断裂、嘔吐、悪心、発疹、めまい、胃部不快感、不眠。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:原則使用不可。授乳中も同様。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬] クラビット等

誌面ではページの都合上
ここまでしか掲載できませんでした... (T.T)...
抗生物質・自薬・滋養強壮・不眠治療薬・アレルギー
喘息、気管支拡張・躁鬱、精神安定剤・血栓症・
ホルモン剤各種・漢方 etc
上記薬の相互作用は「にー」にやWEBにて
ダウンロードして下さいね!

「にー」にや 検索

ネット環境がない!ダウンロードって!? etcという方には、郵送で対応させていただきます。『薬の相互作用希望』とご記入頂き 郵送先住所 氏名 職業 連絡先電話番号 「にー」にやへのご意見、感想をご記入の上、160円分の切手を同封頂き、編集部へお送りください。追って返送し上げます。 応募が殺到する場合は返送にお時間がかかることもございますので、ご了承ください。 〒810-0074 福岡市中央区大手門1-2-1花房ビル2F 「にー」にや編集部「薬の相互作用」係



抗生物質

感染症治療薬 マクロライド系抗生剤

クラリスロマイシン

危険な使い方

シサプリド(健胃薬)/心拍のリズムの異常、心室性不整脈を起こす[製品名=リサモール・アセナリン]ビモジド(向精神薬)/心拍のリズムの異常、心室性不整脈を起こす ジソピラミド(不整脈治療薬)、テオフィリン(喘息治療薬)、トリアゾラム(睡眠・鎮静薬)、シクロスロリン(免疫抑制剤)、シンバスタチン(高脂血症治療薬)、タクロリムス(免疫抑制剤)等/血中濃度上昇し、作用を増強 ジゴキシン(ジギタリス系強心剤)/血中濃度が上昇、作用を増強 製品名=ジゴキシン、ジギトキシン、ラナトシドC等]



危険な組み合わせ

柑橘系ジュース(ラムネ菓子)/口中に強い苦味が出る



副作用

○主な副作用/呼吸困難、全身紅潮、血管浮腫、ショック、血小板減少症、間質性肺炎、横紋筋融解症、肝機能障害、吐き気、頭痛、発疹、食欲減退、胃部不快感、口内炎、貧血等○妊婦・高齢者の場合/事前に医師の指示が必要

[主な市販薬]クラリス・クラリシッド等



感染症治療薬抗インフルエンザ薬

リン酸オセルタミビル

危険な使い方

リン酸オセルタミビル/腎機能障害が悪化する恐れあり



副作用

○主な副作用/下痢・腹痛・嘔吐・頭痛・口内炎等○妊婦・高齢者の場合/事前に医師の指示が必要

[主な市販薬]タフマル等

その他 危険な食べ飲み合わせ)

鶏・豚・牛の肝臓とテトラサイクリン

/ 激しい頭痛

牛乳とテトラサイクリン

/ 薬の吸収が著しく抑制される



目薬・眼病治療薬

目薬

テトラヒドロゾリン

危険な使い方

緑内障の人/症状悪化 虚血性心疾患、甲状腺機能亢進のある人/症状悪化 乳幼児/ショック症状



危険な組み合わせ

消化管へ入らない様にする事/消化管から吸収され悪影響が起こる



副作用

○主な副作用/頭痛、過敏症、血圧上昇、めまい、不整脈、心悸亢進、乾燥感、熱感等。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要

[主な市販薬]アイクール、新VロートEX、アイリスフレッシュ、バイシンプラス、アイロウAL、ホワイトアイリス、眼涼等



眼病治療薬

ジクロフェナミド

危険な使い方

ジギタリス製剤(強心剤)/作用が増強、低カリウム血症が発生する場合あり[製品名=ジギトキシン/ジゴキシン/ジギラノゲンC/ラニラピッド/タルルシン等] 薬糖質副腎皮質ホルモン剤(抗炎症手・抗アレルギー薬)/低カリウム血症が発生し易い



危険な組み合わせ

ビタミンC/尿路結石、腎結石



副作用

○主な副作用/電解質失調、精神錯乱、ヒステリー、一過性近視、知覚異常、便秘、食欲不振。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬]ダラナイド等

眼病治療薬

マレイン酸チモロール

危険な使い方

他の点眼剤/他剤の吸収を妨げる カテコールアミン枯渇剤(高血圧治療薬)/低血圧、めまい、失神、除脈等が発生[製品名=レセルピン/アポブロン等] 他の全身性 遮断剤(狭心症・不整脈・高血圧治療薬)/薬効の増強 ぜん息や心不全の方/症状の悪化

副作用

○主な副作用/呼吸不全、うっ血性心不全、気管支けいれん、心ブロック、角膜上皮障害、頭痛、めまい、乾性角結膜炎等○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要

[主な市販薬]リズムン、ブルネ、チモロール、チマバック、ファルチモ、チモレート、チモプトール等

滋養強壮

ビタミンC

危険な使い方

エストロゲン(膣炎や更年期障害の治療薬)/血中濃度が上昇、作用を増強[製品名=プレマリン] エチニルエストラジオール(女性ホルモン剤)/不正出血の恐れあり[製品名=プラノール、ドオルトン、エデュレン等] ルフェナジン(統合失調症や躁うつ病神経症等の治療薬)/効果減退[製品名=フルメジン] ワーファリン/血液凝固抑制作用が弱まる鉄剤/胃腸障害が起こる場合あり

副作用

○主な副作用/下痢、悪心(きわめて稀)、○妊婦・高齢者の場合/長期間大量に摂取する場合、事前に医師へ要相談

[主な市販薬]総合ビタミンの他、新レモナC、コンケルC、シナールA、ハイシー 100Q、レフトC等

ビタミンA

危険な使い方

エトレチナート(乾癬や掌蹠角化症等に用いる薬)トレチノイン(白血病の治療薬)/作用が増強、ビタミンA過剰症状が出る恐れあり[製品名=チガソン]製品名=ベサノイド) テトラサイクリン(抗生物質)/激しい頭痛を伴う頭蓋内高血圧を招く場合あり[製品名=テラコー、テラ・コートリル、テトラ・コーチン等] ワーファリン(抗凝血剤)/血液凝固抑制作用を弱める[製品名=サモファロン、ワーファリン、ワルファリンK、アレファリン等] 妊娠を希望する人、妊娠3ヶ月以内の人ビタミンAを1日1000単位以上摂取した女性からの出生児に先天異常が多く見られるため使用禁止

危険な組み合わせ

要確認

副作用

○主な副作用/ビタミンA過剰症(体重低下、肝腫大等)頭痛、関節痛、悪心、脱毛、神経過敏、四肢の痛み、かゆみ、食欲減退等○妊婦・高齢者の場合/妊婦:妊娠3ヶ月以内の人は要注意、高齢者:問題なし。

[主な市販薬]ステイタスA、ビタミンAD、ポリグロン、チョコラAD、ノアルADチュアブル等

不眠治療剤

睡眠薬

プロムワレリル尿素

危険な使い方

過量の服用/手足の運動失調やまひ、呼吸機能の低下、目覚めた後に全身けいれん発作や幻視等 フェンチアジン誘導体、バルビツール酸誘導体等(中枢神経の働きを抑える)/催眠鎮静作用が増強される恐れあり

危険な組み合わせ

アルコール/呼吸機能低下、持ち越し効果(中枢神経抑制作用が長引く事)

副作用

○主な副作用/依存性、過敏症状(発疹、紅斑、かゆみなど)悪心・嘔吐、下痢、頭痛、めまい、ふらつき、抑うつ感等○妊婦・高齢者の場合/妊婦:控えるべき、高齢者:要注意。事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬]リスロンS、サリドンエース、新リングル、ストナ解熱、大正トンプク、ナロンエース、メリドンA等

不眠治療薬

トリアゾラム/バルビツール酸系薬剤/ベンゾジアゼピン系薬剤

危険な使い方

フルコナゾール(抗真菌薬)/血液中の真菌の成長を妨げる場合あり[製品名=ジフルカン] シメチジン(潰瘍治療薬)/薬効の作用増強、作用時間が長くなる[製品名=シメチジン・イクロール・アストロフェン・ガスフェロン・スターセル・ファルジン・ストマチジン等] ジルチアゼム(血圧を下げる)/薬効作用の増強、作用時間が長くなる[製品名=ヘルベッサ・コロヘルサー・パレトナミン・ルチアノンR等]

危険な組み合わせ

グレープジュース/記憶障害、ふらつき グレープフルーツ/薬の血中濃度が増大 アルコールとトリアゾラム/中枢神経が抑制されて記憶障害 アルコールとバルビツール酸系薬剤/呼吸抑制、死に至る危険 アルコールとベンゾジアゼピン系薬剤/中枢神経が抑制されて呼吸抑制や記憶障害等

副作用

○主な副作用/連用の場合の薬物依存症、前向き健忘症、呼吸抑制、連用中止の場合の反跳性不眠、肝機能障害、ふらつき、めまい、血圧低下、倦怠感等。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:服用禁止指示があり、医師の指示が必要。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬]トリアゾラム、トリアラム・アスコマーナ・アサシオン・ハルシオン・ネスゲン・フロサイン・ミンザイン等

その他 危険な食べ飲み合わせ)

アルコールとクロルプロマジン(精神神経用剤)

/ 呼吸抑制、循環不全

タバコとクロルプロマジン(精神神経用剤)

/ 薬効減少

アレルギー

アレルギー性鼻炎薬

マレイン酸クロルフェニラミン

危険な使い方

中枢神経抑制薬(睡眠・鎮静剤、精神安定剤、抗てんかん剤)/抗ヒスタミン薬の作用を増強 抗コリン薬(抗けいれん薬・散瞳薬)/抗ヒスタミン薬の作用を増強 ドロキシドパ(パーキンソン病治療薬)/血圧の上昇[製品名/ドプス等] ノルエピネフリン(アドレナリン分泌薬)/血圧が異常に上昇

危険な組み合わせ

アルコール/作用が増強

副作用

○主な副作用/眠気、頭痛、沈静、過敏症(発疹等)、胸焼け、口の渇き、尿閉(尿を排出できない状況)便秘、鼻・気道の乾燥等。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬]エスタック鼻炎スプレー、アルガード鼻炎スプレー、コンタック鼻炎、パブロン点鼻薬、ベンザルA等

アレルギー性薬抗ヒスタミン剤

塩酸ジフェンヒドラミン

危険な使い方

中枢神経を抑制する薬(睡眠薬・精神安定剤等)/両方の成分の働きが増強 抗コリン剤(胃・十二指腸潰瘍の治療、散瞳剤)/抗コリン剤の作用が増強

危険な組み合わせ

アルコール/眠気に襲われる



副作用

○主な副作用 / 倦怠感、悪心、頭痛、頭重、下痢、食欲不振、めまい、のどの渇き、動悸、発疹、神経過敏、眠気等○妊婦・高齢者の場合 / 内服薬使用不可。内服以外の場合も要医師の指示。

[主な市販薬] レストランコーワ錠、スナイス、レストランコーワ糖衣錠、新レブメントFN等



アレルギー性疾患治療剤

塩酸フェキソフェナジン



危険な使い方

水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム(胃・十二指腸潰瘍薬) / 効果減退 製品名 = アクアスチン / サクロフト / マックメット / マーロックス / ディクアノン等] エリスロマイシン(抗生物質) / 血中濃度が上昇、作用が増強 製品名 = タカソン / エリスロマイシン / エリスロシン等]



危険な組み合わせ

りんごジュース、オレンジジュース、グレープフルーツジュース / 効果減退



副作用

○主な副作用 / 過敏症、肝機能障害、呼吸困難、ショック、頭痛、倦怠感、悪夢、消化不良、腹痛、めまい等○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要

[主な市販薬] フアミル等



喘息・気管支拡張



喘息治療薬キサンテン類

テオフィリン



危険な使い方

カフェイン、塩酸エフェドリン、麻黄(気管支拡張剤) / 薬効の増強 シメジチン(消化性潰瘍治療薬) / チクロピジン(抗血栓剤) / エリスロマイシン(抗生物質) / シプロフロキサシン(抗菌剤) / アロプリノール(痛風治療薬) / 精神症状、消化器症状が現れる リファンピシン(結核治療薬) / フェントイン・カルバマゼピン(抗てんかん剤) / 薬効減退



危険な組み合わせ

セントジョーンズワート、喫煙、高たんぱく食 / 薬効減退 唐辛子 / 血中濃度を高める コーヒー、紅茶、緑茶 / イライラ、不眠 タバコ / 体内滞在時間の減少



副作用

○主な副作用 / 意識障害・肝機能障害・横紋筋融解症・急性脳症・呼吸促進・高血糖・けいれん・吐血・不眠・不安・興奮・感覚障害・骨格筋緊張・頻脈・頭痛・倦怠感等。○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬] スローピット、アーデフィリン、チルミン、セキロイド、テオドル、テルダグ、テオロング、ユニコン等



躁うつ・精神安定剤



躁うつ病治療薬抗躁薬

炭酸リチウム



危険な使い方

非ステロイド系 酢酸系) 抗炎症薬(リウマチ、中耳炎) / サイアザイド系利尿薬(血圧を下げる) / スピロラクトン(カリウム保持性利尿剤) / リチウム中毒を起こす場合あり



危険な組み合わせ

塩分が少ない食事 / リチウムの毒性 塩分が多い食事 / 薬効減退 オオバコの種子、紅茶、コーヒー、緑茶(タンニン) / 薬効減退



副作用

○主な副作用 / 悪心、食欲低下、嘔吐、下痢、震え、錯乱、脱力、倦怠感、むくみ、血糖上昇、徐脈、脱水等。○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可 授乳中も同様。高齢者: 要医師の指示。

[主な製品名] 炭酸リチウム、リーマス、リチオマール等



うつ病治療薬

フルボキサミン



危険な使い方

チオリダジン(精神安定剤) / 心拍の異常 製品名 = メレルール等] テオフィリン(気管支喘息治療薬) / 免疫抑制薬、遮断薬(降圧剤) / 作用増強



危険な組み合わせ

セントジョーンズワート、アルコール / 作用増強



副作用

○主な副作用 / 幻覚・錯乱・嘔吐・下痢・興奮・せん妄・震え・けいれん・ショック・血小板減少・白血球減少・肝機能障害・立ちくらみ・眠気・食欲減退・口渇・吐き気・便秘等○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可。授乳中も同様。高齢者: 事前に医師の指示が必要

[主な製品名] レボックス・デプロメール等

その他(抗うつ剤)

ワインとモノアミン酸化酵素阻害剤

/ 致死的な高血圧の発作

・塩酸イミプラミンとタバコ

/ 薬効減少、体内滞在時間の減少

精神安定剤ベンゾジアゼピン系抗不安薬

ジアゼパム



危険な使い方

シメジチン(消化性潰瘍治療薬) / ジアゼパムの作用が増強の場合あり 製品名 = シメジチン・ファルジン・イクロール・スターセル等]



危険な組み合わせ

グレープフルーツジュース、アルコール / 薬効の強化 コーヒー、お茶、バレリアン(ハーブ) / 薬効の低下 タバコ / 薬効減少、体内滞在時間の減少



副作用

○主な副作用 / 前向き健忘症、運動失調、呼吸抑制、ふらつき、眠気、倦怠感、頭痛、脱力感、口の渇き、めまい等○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可。授乳中も同様。高齢者: 要医師の指示。

[主な製品名] ジアゼパム・ジアバックス・セルシン・セレンジン・コンディション・ホリゾン・ソナコン・リリパー等



ホルモン剤



副腎皮質ステロイド剤

プレドニゾロン



危険な使い方

アモバルビタール(不眠症治療薬) / リファンピシン(結核治療薬) / イミノスチルベン誘導体(てんかん治療薬) / 効果減退 製品名 = イソミタール / リファンピシン・リファジン・リマクタン / カルバマゼピン]



危険な組み合わせ

グレープフルーツジュース / 血中濃度が高くなり、副作用が起こり易くなる



副作用

○主な副作用 / 感染症誘発、精神変調、消化性潰瘍、糖尿病誘発、副腎皮質不全症状、皮下うっ血、顔貌円形化、多汗、多尿、興奮、不眠、食欲異常等○妊婦・高齢者の場合 / 安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な製品名] プレドニゾロン・プレロン・プレドニン等



甲状腺ホルモン剤

レボチロキシンナトリウム



危険な使い方

アゾゴキシン(強心剤) / 効果が不安定になる 製品名 = ジゴキシン / ジゴシン等] ワルファン(抗血栓薬) 製品名 = ワーファリン / ワルファリンK / サモファロン / アレファリン等] 塩素イソプレナリン(交感神経刺激剤) / 併用薬の効果増強 製品名 = プロタノールS、イソメニール等] 経口血糖降下剤・インスリン製剤 / 血糖コントロールを注意



危険な組み合わせ

海藻 / 作用が増強 西洋ワサビ / 甲状腺検査前には禁止



副作用

○主な副作用 / うっ血性心不全、ショック、肝機能障害、脈拍増加、ふるえ、不眠、発汗、神経過敏、心悸亢進等○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 特に問題なし。高齢者: 事前に医師の指示が必要。

[主な製品名] テララチンS等



副作用

エストラジオール



危険な使い方

インスリン製剤・スルホニル尿素系(経口血糖降下剤) / 効果減退 イブリフラボン(骨粗しょう症治療薬) / 薬効増強 製品名 = アスオスト、イブリプラスト、オートゲン、スケララックス等] 服用中の喫煙で薬の代謝が弱まる



危険な組み合わせ

タバコ / 効果減退 しいの実 / 薬の血液中濃度が増大、血液の凝固促進等 グアバ / 出血



副作用

○主な副作用 / 不正出血、乳房痛、過敏症状、消退出血、嘔吐、頭痛、めまい、多形性紅斑、倦怠感等。○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可。授乳中も同様。高齢者: 医師の指示必須。

[主な製品名] フェエスト、エストラーダム、エストラーナ等



副作用

エストラジオール



危険な使い方

インスリン製剤・スルホニル尿素系(経口血糖降下剤) / 効果減退 イブリフラボン(骨粗しょう症治療薬) / 薬効増強 製品名 = アスオスト、イブリプラスト、オートゲン、スケララックス等] 服用中の喫煙で薬の代謝が弱まる



危険な組み合わせ

タバコ / 効果減退 しいの実 / 薬の血液中濃度が増大、血液の凝固促進等 グアバ / 出血



副作用

○主な副作用 / 不正出血、乳房痛、過敏症状、消退出血、嘔吐、頭痛、めまい、多形性紅斑、倦怠感等。○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可。授乳中も同様。高齢者: 医師の指示必須。

[主な製品名] フェエスト、エストラーダム、エストラーナ等

経口避妊薬(ピル)

エチニルエストラジオール・ノルエチステロン



危険な使い方

副腎皮質ステロイド剤(抗炎症・抗アレルギー薬)、三環系抗うつ剤(うつ病薬) / 薬の作用増強 テトラサイクリン系抗生剤・ペニシリン系抗生剤(抗生物質) / 避妊効果減退 血糖降下剤(耐糖能薬) / インスリンに対する感受性が弱まる 35歳以上で旧の喫煙本数が15本以上の人は心筋梗塞を起こす場合あり。乳がん、子宮筋腫の人は使用不可



危険な組み合わせ

西洋オトギリ草 / 不正性器出血 タバコ / 心血管への有害作用



副作用

○主な副作用 / 血栓症、発疹、乳房痛、吐き気、嘔吐、視力障害、頭痛等。○妊婦・高齢者の場合 / 妊婦: 服用不可。授乳中も同様。

[主な製品名] エリオット 21、オーソ M 21、シンフェーズ T 28、オーソ 777-28等



血栓症

血栓症治療薬血小板凝集阻害

アスピリン



危ない使い方

トルブタミド(血糖効果剤)、ワルファリン(抗血栓剤)、バルプロ酸ナトリウム(抗てんかん剤)、メトトレキサート(抗がん剤)/作用の増強



危ない組み合わせ

ハーブ類のカモミール/作用の増強 生姜、にんにく、朝鮮にんじん(大量摂取)/不正出血の恐れ



副作用

○主な副作用/呼吸困難、血管浮腫、全身紅潮、ショック、喘息発作、消化性潰瘍、再生不良性貧血、肝臓、腎臓障害、胸焼け、胃腸障害、過敏症、頭痛、めまい、鼻炎、倦怠感。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:使用不可の期間有。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬]アスピリン・アストブレン・バイアスピリン・サリチソン等

その他 危険な食べ飲み合わせ)

キャベツとワルファリン/血液の凝固が起きる
グアバとワルファリン/血液の凝固が起きる
クロレラとワルファリン/血液の凝固が起きる
納豆とワルファリン/血液の凝固が起きる
鶏・豚・牛の肝臓とワルファリン/血液凝固阻止作用が強まる
ブロッコリーとワルファリン/低プロトロンピン血症等が起きる
ホウレンソウとワルファリン/血液の凝固が起きる
レタスとワルファリン/血液の凝固が起きる
アルコールとワルファリン/血液の凝固が起きる



漢方薬

柴胡主成分の漢方薬

小柴胡湯



危ない使い方

慢性肝炎、肝硬変、肝がん患者/間質性肺炎を起こす場合があるので使用厳禁 インターフェロンを使っている人/間質性肺炎を起こす場合があるので使用厳禁 グリチルリチン酸を含む製剤(肝臓治療薬)/偽アルドステロン症、低カリウム血症



危ない組み合わせ

甘草/偽アルドステロン症、低カリウム血症



副作用

○主な副作用/過敏症、発汗過多、食欲不振、排尿障害、不眠、頻脈、動悸、悪心・嘔吐、ミオパシー(筋肉の萎縮、疲労感、脱力感等)、偽アルドステロン症(むくみ、体重増加、高血圧等)等。○妊婦・高齢者の場合/事前に医師の指示が必要。

[主な市販薬]薬の名称に「小柴胡湯」の文字がある物



葛根主成分の漢方薬

葛根湯



危ない使い方

エフェドリン(かぜ薬)、鎮咳薬、麻黄含有製剤/作用増強、不眠、発汗過多、頻脈、動悸 甲状腺ホルモン剤、カテコールアミン製剤、キサンチン製剤(ぜんそく発作や心臓衰弱の治療薬)/作用が増強する場合あり グリチルリチン酸(肝臓病薬)/カリウムが尿に異常排泄される



危ない組み合わせ

甘草/偽アルドステロン症、低カリウム血症



副作用

○主な副作用/ミオパシー(筋肉の萎縮、疲労感、脱力感など)、偽アルドステロン症(むくみ、高血圧、体重増加等)、不眠、食欲不振、過敏症、排尿障害、悪心・嘔吐、発汗過多等。○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬]薬の名称に「葛根湯」の文字が入っている物



その他の薬品

外用薬の解熱・消炎鎮痛薬

インドメタシン



危ない使い方

アスピリンぜんそくの人/アスピリンぜんそくを誘発、使用禁止 気管支ぜんそくのある人/事前に医師や薬剤師に相談



危ない組み合わせ

感染症による発熱や痛み等がある人/感染症を見逃す恐れあり



副作用

○主な副作用/外皮用に関しては、発赤、発疹、ひりひり感、かゆみ、腫脹、乾燥感、熱感等○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬]Eアサロンバシンドメタシン、トクホンD、アンメルシンハップ、バンテリンコーワ、レバックスC等



禁煙補助薬



ニコチン



危ない使い方

遮断薬(薬高血圧治療)/血圧降下作用が弱くなる。使用前に医師へ要相談 禁煙中/血糖値を上昇させ、血糖コントロールが出来なくなる恐れあり 禁煙成功後の糖尿病やぜんそくの人/血糖値が下り過ぎる可能性もあり。使用前に医師へ要相談



副作用

○主な副作用/口内炎、口内・咽頭刺激感、嘔気、腹部不快感、咽頭痛、動悸、頭痛等○妊婦・高齢者の場合/安全性が確立していない為、医師の指示が必要。

[主な市販薬]ニコレット、ニコチネルTTS等



歯・口腔治療薬



塩化リゾチーム



危ない使い方

卵白アレルギーの人/アナフィラキシーショックを含む過敏症状が出る恐れがある為、使用不可。アトピー性皮膚炎、気管支ぜんそく、食物アレルギー等アレルギー素因のある人、両親や兄弟等にアレルギーの既往歴がある人等/同様の症状を起こし易く、自己判断での使用は危険



副作用

○主な副作用/皮膚粘膜眼症候群、ショック、中毒性皮膚壊死症、下痢、発疹、発赤、悪心・嘔吐、胃部不快感、口内炎、食欲不振等○妊婦・高齢者の場合/特に問題なし。

[主な市販薬]新コルゲンコーワトローチ、エスチーム、デンタル、デンテックE、ラダーA、パウンドカプセル等



禁酒補助剤



ジスルフィラム



危ない使い方

フェニトイン(抗てんかん薬)/併用薬の代謝低下、作用増強 製品名=フェニトイン/アレピアチン/ヒダントール等]ワルファリン(心筋梗塞、脳血栓症治療薬)/作用増強 製品名=ワルファリン/ワルファリンK/サモファロン/アレファリン等]メトロニダゾール(トリコモナス症、膣炎治療薬)イソニアジド(結核治療薬)/不安感、イライラ、抑うつ感等 重度の心臓・腎臓・呼吸器障害のある方/症状悪化の為使用不可



危ない組み合わせ

奈良漬等アルコール入り食品・化粧品/急性アルコール中毒



副作用

○主な副作用/抑うつ感、情緒不安定、錯乱(アルコールの禁断による可能性もある)幻覚等○妊婦・高齢者の場合/妊婦:使用不可。授乳中は要医師の指示。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な製品名]リックピン等

高脂血症治療薬 スタチン系薬剤

シンバスタチン



危ない使い方

フィbrate系薬剤(中性脂肪低下作用)/横紋筋融解症を起こす 製品名=クロフィbrate、アルファイbrate、リボクリン、コレソルピン、リバンチル、ベザリップ等]スタチン系薬剤/過敏症、肝機能低下の人は使用不可



危ない組み合わせ

グレープフルーツジュース/血中濃度増加、薬効の増強 セントジョーンズワート(ハーブ)/血中濃度低下、効果減退



副作用

○主な副作用/末梢神経障害、過敏症候群、肝機能障害、横紋筋融解症、発疹、胃腸障害、不眠、関節痛、筋肉痛、胸痛、動悸、耳鳴り等。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:原則使用不可。授乳中も同様。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な製品名]リボバス等



水虫治療薬抗真菌薬



グリセオフルビン



危ない使い方

ワルファリン(血栓症・心筋梗塞治療薬)/効果減退 主な製品名=ワルファリンK、ワーファリン・サモファロン・アレファリン等]経口黄体・卵胞ホルモン(子宮出血、月経異常時の治療薬)/効果減退 主な製品名=ソフィアA・C・D・トオルバン・エデュレン・ルテジオン等]バルビツール酸系薬剤(睡眠、鎮静剤)/消化管吸収の低下 主な製品名=フェノバルビタール・ルビアル・フェノバル・イソミタル・ルミナル・ラボナ等]肝障害、ポルフィリン症、抗真菌過敏症の人は使用不可



危ない組み合わせ

アルコール/顔面紅潮・頭痛、頻脈、発汗、血圧低下、動悸、嘔吐、悪心 牛乳/薬効増強



副作用

○主な副作用/悪心、頭痛、嘔吐、めまい、色素沈着、光線過敏症、眠気、不眠、ポルフィリン症(皮膚の潰瘍)等。○妊婦・高齢者の場合/妊婦:原則使用不可。授乳中も同様。高齢者:事前に医師の指示が必要。

[主な製品名]フグリセオフルビンSG、グリソピンFR、グリセチンV、グセルピンFR、ボンシルFR、フルシチン等



貧血治療薬造血薬鉄剤



鉄剤



危ない使い方

テトラサイクリン系抗生物質(皮膚感染症、肺炎)/効果減退 セフニジル、ニューキ/ロシ系抗生物質(敗血症等)/併用薬の阻害 制酸剤(胃・十二指腸潰瘍治療薬)/効果減退



危ない組み合わせ

牛乳/効果減退 コーヒー、紅茶、緑茶と鉄剤(貧血治療薬)/タンニンが吸収を妨げる



副作用

○主な副作用/下腹痛・胃痛・吐き気・腹部膨満感・食欲減退・下痢・便秘等。○妊婦・高齢者の場合/医師の指示に従えば、特に問題なし。

[主な製品名]フェレダイト、フェニレン、フェロミア、フェルム、テックールS、フェログラデュメット等



その他の薬品

抗結核薬

チーズとイソニアジド / 発汗、動悸、血圧上昇、嘔吐等
ハマチとイソニアジド / 頭痛、発疹、嘔吐等
マグロとイソニアジド / 頭痛、発疹、嘔吐等
ワインとイソニアジド / 発赤、動悸、頭痛
バイナップルとスミフォン / 頭痛、高血圧
バナナとスミフォン / 頭痛、高血圧
プリとイソニアジド / 頭痛、発疹、嘔吐等
チーズとイスコテン / 頭痛、発疹、呼吸困難

糖尿病治療薬

カレーとクロルプロバミド / 薬の作用増強
アルコールとクロルプロバミド / 顔面紅潮
アルコールとトルブタミド / 薬効の減少

狭心症・不整脈

柑橘ジュースと硫酸キニジン(不整脈の治療薬)
/ 薬の血液中濃度が増大、尿のアルカリ化
牛乳とメチルディオキシン
(強心剤、不整脈等の治療薬) / 不整脈が悪化
タバコとアテノロール(抗狭心症剤) / 薬効減少
タバコと塩酸プロプラノロール
(狭心症、不整脈、高血圧の治療薬) / 薬効減少

その他

ステーキとマーロックス(制酸剤) / 制酸力が低下
バターとグルセオフルビン(皮膚病治療薬)
/ 発疹、白血球減少、腎障害
牛乳とエトレチナート(皮膚の角化異常治療薬)
/ 薬の血液中濃度が増大、副作用増大
グレープフルーツとシクロスポリン(免疫抑制剤)
/ 薬の血液中濃度が増大
グレープフルーツとジヒドロピリジン系
カルシウム拮抗剤(高血圧治療薬)
/ 薬の血液中濃度が増大、血圧低下、頭痛
アルコールとカルモフル(がん治療薬)
/ ジスルフィラム様の作用
アルコールとグリセオフルビン(抗真菌薬)
/ ジスルフィラム様の作用(顔面紅潮、嘔吐等)
アルコールとフェニトイン(抗てんかん薬)
/ 過大な作用
アルコールとメトロニダゾール(抗原虫薬)
/ ジスルフィラム様の作用